



郡山市立谷田川小学校 学校だより

宇津峰

令和 7年度 第19号
令和 7年 9月12日
文責 校長 山下嘉寿夫

楽しかった～、また行きたいっ！！ ～体験見学学習にに行ってきました～

9月11日、子ども達がとても楽しみにしていた体験見学学習がありました。

1, 2年生は郡山駅、ふれあい科学館等、3, 4年生は河内クリーンセンター、逢瀬公園等、5, 6年生は須賀川市役所、須賀川市交流セン



ター等を見学してきました。どの学年の子どもも、朝からワクワク感いっぱい、ニコニコ顔で話す姿が学校のあちこちで見られました。1, 2年生と一緒に見学学習に行ってきたのですが、子ども達は終始笑顔で体験活動や見学学習を楽しんでいました。家族で来たことがある場所であっても、友達と来ると違った場所に見えたのではないのでしょうか。「友達効果」で倍楽しかったに違いありません。3年生から6年生についても、お小遣いを使つての



買い物などもあり、とても楽しく過ごせた話を聞き嬉しく思います。これから楽しい行事は、運動会、稲刈り、さつまいも掘り、収穫祭・・・と続きます。体調を崩さず、全部の行事に笑顔で参加できるようご家庭でも体調管理、声掛けをお願いいたします。

奮ってご参加ください ～保護者、地域の皆様の運動会参加種目について～

昨年度、新たに保護者の皆様、地域の皆様に参加いただける種目を運動会に取り入れたところ、「こんなに大勢の方が！」と驚くほど参加していただき、大盛況のうちに運動会を終えることができました。何より、一生懸命玉入れをする家族の姿を見ていた子ども達がとても嬉しそうだったことが、一番の収穫でした。そこで、今年度も保護者の皆様、地域の皆様に参加いただける種目を用意いたします。更に、「一種目だけでは足りなかった・・・」という声にお答えして、今年度は2種目用意しました。一つは昨年度と同じ「玉入れ」、そして今年度はもう一つ「大玉送り」を実施する予定です。どちらも練習なしで簡単に楽しめる種目となっていますので、当日は奮って参加いただければと思います。種目の詳細につきましては、宇津峰 20 号でお知らせ致します。



〈昨年度の「玉入れ」の様子〉

ローマ字のつづり方 約70年ぶり見直し ～ヘボン式を基本的な表記に～

文化庁の審議会は、ローマ字のつづり方をおよそ70年ぶりに見直す答申をまとめました。ローマ字のつづり方には、「ち」を「ti」とする「訓令式」と、「chi」とするより英語に近い「ヘボン式」があり、およそ70年間、学校教育では「訓令式」が基本とされてきました。保護者の皆さんも、「ち」は「ti」、「し」は「si」と習ったのではないのでしょうか。答申では、現在、広く使われ多くの人が慣れ親しんでいる「ヘボン式」を基本的に使用するとしています。具体的には、「し」が「si→shi」、「ち」が「ti→chi」、「つ」が「tu→tsu」、「ふ」が「hu→fu」のように表記されるようになり、年内にも内閣告示で示され、2026年度以降、小学校の国語でもヘボン式が順次使われる予定になっています。使用するときには混乱がなければいいが…、そう感じた

[illegible]

※「」を付したツブリは、現代において、次の保護に对应する言と異なり貴重とするものとして扱われるため、このツブリ表においては使い分けをしていない。

世界最高峰の陸上競技大会「世界陸上」を観てみませんか。

個人的な話になってしまいますが、教員になって以来、縁あって小学校の陸上競技に携わってきました。陸上競技の魅力に取りつかれ気がつけば30年、いまだに離れることができません。その陸上競技の最高峰「世界陸上」が34年ぶりに東京で開催され、明日から競技がスタートします。残念ながら、チケットは確保できませんでしたが、テレビで観戦しようと思っています。何と言っても注目は、男子4×100mリレー「リレー侍」の走りです。

そして、10月には5,6年生が参加する陸上交歓会があります。是非、小学生の皆さんにも世界陸上を観てほしいと思っています。何かしら刺激を受けて、上手に跳んだり、投げたり、走ったりするヒントが見つかるかもしれません。

ヤワな大人にならない「生きかたルールブック」 ～ その十六 ～

《生き方ルール47》

「変わらないものなんて、何もない」と覚えておく

時間は止まることなく流れ、世の中はいつも変わり続ける。君の悩みや不安も、いつまでも同じじゃない。どんなにつらい状況だって、必ず変わっていくから大丈夫。

【ちょっと一息 コーヒーブレイク】 ～子どもとの話題作りに～

9月12日は「マラソンの日」です。現代のマラソンでは42.195kmを2時間を切る速さに迫り、どこまでタイムが伸びるのだろうと気になるところです。そして、マラソンと言って私が思い出すのが太宰治の名作「走れメロス」です。このメロスと現代のマラソントップランナーはどちらが速いのか？物語の表現をもとに時速を計算し、比べてみました。参考にしたのは「少しずつ沈んでゆく太陽の、十倍もはやく走った」という表現です。もちろん比喩的な表現なのですが、敢えてこの表現に沿って考えると、大変なことが分かりました。メロスはいったい時速何kmで走ったのでしょうか。ちなみにマラソンの世界最高タイム2時間35秒は、時速21kmです。

- ① 時速13km ② 時速130km ③ 時速1300km (マッハ11)

前回の答えは ③ 2970 億円 でした。